

# 福岡県農林水産まつりで、ウニ割体験会を開催！！

## ～ ブルーカーボン推進の取組みを紹介 ～

ブルーカーボンに関する取組み：[福岡県水産海洋技術センター]

福岡県ではブルーカーボンの創出を推進するため、筑前海沿海の漁協や市町、九州大学、民間企業等から構成される「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を立ち上げ、海藻を食害するウニの除去や、除去したウニの養殖の取組を進めています。

令和6年11月2日（土）、3日（日）に開催された福岡県農林水産まつりにおいて、福岡県水産海洋技術センターでは、ブルーカーボンのPRを行いました。

当日、パネルでブルーカーボンの取組みを紹介するとともに、漁場から身入りの悪いウニを取り上げ、短期間の養殖で身入りを増やしたウニを用いて、ウニ割体験を行いました。

### 福岡県におけるブルーカーボン創出の取組①

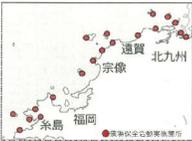
**藻場のブルーカーボン**

藻場は、「海の森」とも呼ばれ、種々の有殻動物や植物となり、水産資源を育む場所です。藻場に生える海藻に貯蓄されるCO<sub>2</sub>はブルーカーボンとして、脱炭素社会の実現に向けて大きな役割が期待されています。



**藻場保全の取組**

県では、平成22年度より、北九州から糸島に至る筑前海の20地区で、沿海市町と共に、ウニ除去や母貝投入等の漁業者が取り組む藻場保全活動に対して支援を行ってきました。ブルーカーボンの創出に繋がる藻場の保全は、海藻による二酸化炭素の吸収など、海の環境保護の活動であり、ワンハリスアプローチとして取り組んでいます。



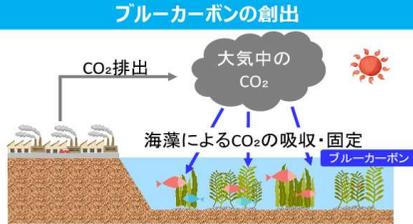
**福岡県ブルーカーボン推進協議会**

藻場保全活動に加え、除去したウニに地元産野菜を割として与えて養殖し、施設化する取組や、ブルーカーボンのクレジット化を進めています。ブルーカーボン創出の取組を幅広い分野の事業者と協働できるよう、令和6年4月に設立したのが「福岡県ブルーカーボン推進協議会」です。本協議会は、漁業関係者や九州大学、藻場の保全活動に賛同する地元企業、筑前海沿海の各市町等に参画いただき、各事業者が連携してブルーカーボン創出を推進していくものです。



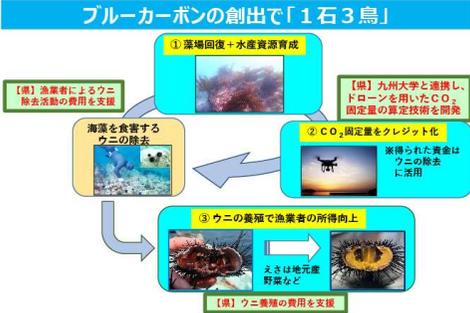
### 福岡県におけるブルーカーボン創出の取組②

**ブルーカーボンの創出**



・海藻に吸収・固定されるCO<sub>2</sub>はブルーカーボンとして、脱炭素社会の実現に大きな役割

**ブルーカーボンの創出で「1石3鳥」**



【前】漁業者によるウニ除去活動の費用を支援

【前】九州大学と連携し、ドローンを用いたCO<sub>2</sub>固定量の算定技術を開発

【前】ウニ養殖の費用を支援

## ウニ割り体験コーナー!!

割ってみない？

野菜を食べて育った!!



お土産もあるよ!!

ぜひ、お家でたべてみて♪

福岡県水産海洋技術センター

ウニ割体験は、福岡のタレント岡澤アキラさんの呼び込みもあって、100名を超える来客者で盛況な結果となりました。

参加者からは、「生きたウニに初めて触った!」、「ウニが海藻を食べて、漁業者が困っていることを初めて知った!」、「身を取り出す作業が大変で、ウニの価格が高い理由がわかった!」等の声がありました。



ウニ割体験を紹介する岡澤アキラ氏



ムラサキウニ



ブルーカーボン ブース



ウニ割体験の状況



ウニ割指導の状況



ウニの身入り状況